

平成 12 年 3 月 23 日

街の壁がきれいになりました

川越街道富士見橋側道の壁面汚染防止・塗装作業完成

区内中心部を貫く川越街道（国道 254 号）富士見橋側道の壁面に、落書き等の汚染を防止する特殊塗装が施され、本日地元住民を前にお披露目のデモンストレーションが行われた。

今回特殊舗装が施されたのは、高速 5 号池袋線の下を走る川越街道富士見橋側道の上池袋 2 丁目地区に面する長さ約 100 メートルの壁面。

これまで、この壁面には落書きが目立ち、また打放しのコンクリート壁の圧迫感などにより、街の景観を損なう状況にあった。特に落書きについては、以前塗りつぶしたこともあったが、またその上に重ね書きされる状況だった。こうした状況に対し、地元住民で組織する上池袋地区まちづくり協議会を中心に改善を求める声があがり、昨年より区や国道を管理する建設省の東京国道工事事務所への働きかけが重ねられてきた。今回の工事は、こうした地元住民の要望を受けて、道工事事務所が、先月 16 日より約 1 ヶ月間の工期で実施したもので、壁面の落書き除去および洗浄と汚染を防止する塗装作業などが行われた。

今回の工事では、重曹を使った最新機械による壁面洗浄、下地処理ののち、約 506 平方メートルの壁面に特殊塗装が施されたが、特に落書きがされやすい高さ 2.5 メートルまでの部分は特殊塗料が 2 度塗りされている。この塗装壁は、簡単には消せないラッカースプレーや油性マジック等による落書き、また煤煙などの汚れも、グリコールと界面活性剤を成分とする除去剤で簡単に拭き消すことができる。この除去剤についても、シンナーなどのような刺激臭もなく、無害な薬剤として安心して使用できるというもの。こうした特殊塗装による工事は区内では初めてであり、お披露目を兼ねて、本日午前 10 時、地元協議会関係者や住民を前に、実際に壁面にラッカースプレーを吹き付け、除去剤で拭き取るデモンストレーションが行われた。

灰色から明るいクリーム色に変身した壁面を前に、住民達は、「街が明るくなりました」と喜びの表情で、簡単に拭き取られる作業を感心して見守っていた。また、区の窓口となった（財）豊島区街づくり公社の担当者も、「今後はイベントのディスプレイなど、この壁を街づくりに活用していく方法を考えていきましょう」と呼びかけていた。

詳細：豊島区街づくり公社 事業推進課街づくり第 1 係